

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 阪東橋教室

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	建築基準法に基づき、限られた空間の中で事故や怪我がないよう配慮しながら行っている。	
	2 職員の配置数は適切である	配置加算を採用しているため、常時指導員は3名以上の体制となっており、しっかりサポートできる配置を行っている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	建築基準法に基づき、バリアフリー化の配慮を行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	毎日室内・道具の清掃や手入れを行い、療育中は換気し、清潔を保っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	終業ミーティング時にその日あったことを共有し、業務改善に向けて話し合いをしている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者様からのご意見を真摯に受け止め、職員同士で共有し業務改善につなげている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	年に1度ホームページにて公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		現在第三者による外部評価は行っておらず、今後必要に応じ、検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	興味や必要に応じて外部研修に参加し、内容を共有する機会を設けている。また、社内研修は運動面など適宜行っている。	
適切な支援	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		現在標準化されたアセスメントツールは存在しないため、今後作成し、運用していく予定。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	子ども一人ひとりのサービス計画に沿って、基本活動(自立支援・日常生活の充実のための活動等)を複数合わせて行っている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	計画を作成する際も、すべての職員が参加しており、その支援についても意思統一を図っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	児発管と指導員全員で話し合い、プログラムの立案を行っている。	
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	その日のお子様の心情に合わせて柔軟に進めている。		

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 阪東橋教室

の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行い、子どもの成長度合いに応じ、クラス変更を見発管、指導員、保護者、子どもの意見を聴取し行っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に必ず打ち合わせの時間を確保し、課題を書き出し、ミーティングの中で、支援方法や役割分担を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	支援終了後に必ず打ち合わせの時間を確保し、1日の振り返りミーティングの中で、気づいた点や改善点を洗い出している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録にも記入し、検証している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	定期的(6ヶ月ごと)に保護者と面談を行っている。それに合わせ、見発管、指導員でミーティングを行い計画の見直しの必要性を判断している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	相談支援事業所と電話でのやり取りを行っている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	直接の連携は行っていないが、保護者からの要望に応じる形で、情報の共有など連携できる体制は整えている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		医療的ケアが必要なお子様は通所されていない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		医療的ケアが必要なお子様は通所されていない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		保護者様からの相談があれば検討していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		保護者様からの相談があれば検討していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	区市町村が運営する公開研修・療育セミナーに各自参加し、その中で積極的に情報収集を行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく、実施していない。今後ご希望があれば検討していく予定。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		現在は行っていないが、必要に応じて検討していく予定。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。	

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 阪東橋教室

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		現在は行っていないが、必要に応じて検討していく予定。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	定期的(6ヶ月ごと)に保護者の方と面談を行い、支援計画の説明と同意を頂いている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	毎回、指導員や児発管が声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。	
保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		現在は行っていないが、必要に応じて検討していく予定。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	現在は契約時等に苦情の連絡方法を伝えたり、苦情になる前に保護者の様子を察知し事前対応しているつもりであるが、必要に応じて、意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口の設置を検討していく。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	口頭での連絡が多いが、必要な場合は紙面での伝達を行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報と思われる資料はシュレツダーを掛け、カギ付き書庫の中に保管している。PC等からの個人情報へのアクセスについても、セキュリティソフトを導入して対応している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	必要に応じて、重要事項は文書として渡すなどの配慮を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		現在は行っていないため、今後必要に応じ検討していく予定。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	緊急時対応マニュアルと感染症マニュアルを作成し、定期的に事業所内で研修等を実施している。	
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年2回実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約の際に提出していただくフェイスシートにて確認しており、スタッフ間で情報の共有をしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	契約時に確認を行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、全職員で映像を見返して共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。	

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 阪東橋教室

46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	定期的に事業所内で虐待防止の研修を行っている。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	身体拘束同意書を用いて説明、同意をいただき、個別支援計画に記載している。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 阪東橋教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	0	0	1	・定期的に見学ができるとう 良い ・先生方の専門を詳しく存じ上 げていません。	・今後見学について検討してまいりま す。 ・職員の専門性について、何かしらの 形で周知できればと考えております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	0	0	0	物が整理されており、掲示物もわかりやすいです。バリアフリー化されています。	ありがとうございます。今後も清潔・整理整頓に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	0	0	0	清潔だと感じています。	ありがとうございます。今後も清潔・整理整頓に努めてまいります。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	13	0	0	0	ニーズを確認し、適切な個別支援計画が組まれています。	ありがとうございます。今後も保護者様のニーズを汲み取り、支援計画に反映させてプログラムを考案してまいります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	0	0	0	「発達支援」しっかりと取り組んで頂いています。	ありがとうございます。今後も保護者様のニーズを汲み取り、支援計画に反映させてプログラムを考案してまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	0	0	0	計画に基づき支援を行っていただいております。	ありがとうございます。今後も保護者様のニーズを汲み取り、支援計画に反映させてプログラムを考案してまいります。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	0	0	0	長期休暇や季節ごとにイベントを設定していただいております。	ありがとうございます。季節を感じられるようなイベントを開催し、お子様に楽しんで通所していただけるよう工夫してまいります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	5	5	・必要なし ・自身の子供は日頃交流がある為特に求めていない。	参考になるご意見ありがとうございます。今後保護者様のご意見をうかがって検討してまいります。
保護者への	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	0	0	0	・説明を頂きました。	今後も契約時だけでなく、更新時等必要な状況に応じてお伝えしてまいります。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	12	0	0	0	半年ごとに説明をしていただいております。	今後も契約時だけでなく、更新時等必要な状況に応じてお伝えしてまいります。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	6	3	3	1	・参観の実施や、日頃の相談対応で実施頂いている認識です。 ・自宅でこういうことがあったと話をすることはあるが、解決策や助言などは特にはない	ご意見ありがとうございます。引き続きフィードバック時や個別面談等でお話しできればと思っております。面談をご希望でしたらぜひご相談ください。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	0	0	0	・終了前に活動報告をしてくれる ・フィードバックで教えて頂いています。問題が起きた際に相談しています。	ありがとうございます。今後もお子様の状況や課題等、状況に応じて個人情報に配慮しながらお伝えしてまいります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1	0	0	困った際に助言を頂いています。	今後もご利用者様のお力になれるよう精進してまいります。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 阪東橋教室

説明等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	4	4	3	・参観や行きかえりの挨拶時にお話する程度で十分と感じています。 ・他保護者との交流を持てる場がないのでもしあれば情報交換などできるので有難い。	今後保護者様のご意見を鑑みて、企画を検討・開催してまいります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13	0	0	0	スタッフの皆様で共有して頂いています。	ありがとうございます。今後も全職員認識を統一し、対応に差が出ないように継続して共有し、療育・支援に繋げてまいります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	0	0	0	ラインで情報を流して下さっています。	口頭や書面だけでなく、引き続きLINEアプリも活用し、個人情報に配慮しながら情報伝達してまいります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	1	1	2		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12	0	0	1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7	3	2	1	・訓練に参加したことがまだないので、行われているのか分からない。 ・マニュアルについてもご説明いただけると助かります。	避難訓練実施の際は事前にLINEアプリにて周知し、お子様と訓練を行っています。今後も事前にLINEアプリでお知らせいたします。また、マニュアルについても今後お知らせしてまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	2	0	2	・訓練に参加したことがまだないので、行われているのか分からない。 ・今年は防災訓練のご案内を頂いていないと思います。	非常事態に備え、定期的にお子様と訓練を実施しています。新年度でも実施を計画しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	13	0	0	0	・毎回、心待ちにしております。 ・嫌がることはなく、楽しく通っている。 ・毎週楽しみにしているようです。	嬉しいお言葉ありがとうございます。今後もお子様が楽しんで通所できるようなプログラム・教室づくりを目指し、運営してまいります。
	23	事業所の支援に満足しているか	13	0	0	0	・大変満足しております。 ・いつも丁寧にフォローして頂き大変感謝しております。今後も通わせて頂きたいと思っております。 ・子供の成長が感じられて楽しい。 ・特性については落ち着いてきた面もありますが困っていることに対して相談できる場所があるというのは本当に有難いことだと思っています。小学校体育に向けてマット・跳び箱・鉄棒に取り組んで下さっているのも助かります。今後ともよろしくお願いたします。	嬉しいお言葉ありがとうございます。今後も保護者様のニーズを汲み取り、支援計画に取り入れることはもちろん、ご利用者様ご家族に寄り添ったプログラム・教室づくりを目指し、運営してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 阪東橋教室

		チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	建築基準法に基づき、限られた空間の中で事故や怪我がないように配慮しながら行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	配置加算を採用しているため、常時指導員は3名以上の体制となっており、しっかりサポートできる配置を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	建築基準法に基づき、バリアフリー化の配慮を行っている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	終業ミーティング時にその日あったことを共有し、業務改善に向けて話し合いをしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	保護者様からのご意見を真摯に受け止め、職員同士で共有し業務改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	年に1度ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		現在第三者による外部評価は行っていないが、今後必要に応じ検討していく。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	興味や必要に応じて外部研修に参加し、内容を共有する機会を設けている。また、社内研修は運動面など適宜行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	児発管と指導員が、子どもの様子と保護者の要望を確認しながら、個別支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		現在標準化されたアセスメントツールは存在しないため、今後作成し、運用していく予定。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	ミーティング等でどのようなプログラムを行うか話し合いをしている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	その日の子どもの心情に合わせて柔軟に進めている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	当事業所は休日も通常開所しており、サービス提供は平日と特段変わりがないため、基本的には同じ内容で実施しているが、長期休暇には特別プログラムを実施していく予定。	
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	契約時に適性を見極め各々のクラス設定を行い、子どもの成長度合いに応じ、クラス変更を見発管、指導員、保護者、子どもの意見を聴取している。		
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	支援開始前に支援内容に合わせて役割分担をしている。		

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 阪東橋教室

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	終業ミーティングで本日の様子を振り返り、次回に向けて情報共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	サービス提供記録へ記入し、更に独自の一日の情報記録にも記入し、検証している。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	定期的(6ヶ月ごと)に保護者の方と面談を行っている。それに合わせ、児発管、指導員でミーティングを行い計画の見直しの必要性を判断している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	子ども一人ひとりのサービス計画に沿って、基本活動(自立支援・日常生活の充実のための活動等)を複数合わせて行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	児相談支援事業所と電話でのやり取りを行っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	送迎がないため、保護者と毎回送迎時に情報共有を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		当事業所には医療的ケアの必要なお子様は通所していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		現在は、就学前の各園との情報共有等は行っていない。必要に応じて検討していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	現在障害福祉サービス事業所等へ移行する児童はいないが、その必要があれば、資料を提供できる体制は整っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	区市町村が運営する公開研修・療育セミナーに各自参加し、その中で積極的に情報収集を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していない。また保護者からも必要との声が聞こえてこないため、今後必要性を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		現在は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	毎回の支援終了後に、保護者とのフィードバックの時間を設け、学校や家庭での様子を伺いながら、支援の様子と合わせて、状況や課題を共通認識している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		現在は行っていないが、必要に応じて検討していく。



## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI 阪東橋教室

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	運営規程の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明しており、支援の内容は様々な状況で詳しく説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	毎回、指導員や児発管が声掛けし、助言や支援を行っている。一人の判断で回答できないときは、スタッフ間でミーティングし回答するように心がけている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		現在は行っていないが、必要に応じて検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	現在は契約時等に苦情の連絡方法を伝えたり、苦情になる前に保護者の様子を察知し事前対応しているが、必要に応じて、意見箱の設置や専用お問い合わせ窓口の設置を検討していく。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	口頭での連絡が多いが、必要な場合は紙面での伝達を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	個人情報と思われる資料はシュレッダーを掛け、カギ付き書庫の中に保管している。PC等からの個人情報へのアクセスについても、セキュリティソフトを導入して対応している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	必要に応じて、重要事項は文書として渡すなどの配慮を行っている。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		現在特にしていないため、今後必要に応じて検討していく予定。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	緊急時対応マニュアルと感染症マニュアルを作成し、定期的に事業所内で研修等を実施している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年2回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	定期的に研修機会を設け実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	身体拘束同意書を用いて説明、同意をいただいており、個別支援計画に記載している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	契約の際に提出していただくフェイスシートにて確認しており、スタッフ間で情報の共有をしている。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、全職員で映像での振り返りなどで共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 阪東橋教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	4			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	21	1			
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	5	2		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	20	1	1		
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	19	1	2	イベントウイークがあって子供が楽しみにしている	ご意見ありがとうございます。今後も引き続きお子様が楽しんで通所できるプログラム・教室づくりを考案・運営してまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	12	7	・この部分は利用していない 為 ・機会を必要と感じません ・必要ない	ご意見ありがとうございます。現状交流等ないですが、今後は保護者様のお声を鑑みて、検討してまいります。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	9	9		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	12			
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	11			
14 個人情報に十分注意しているか	19	3				
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	5			
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	3			
満 口	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18	4		・子どもが楽しく通っています	ありがとうございます。今後も引き続きお子様が楽しんで通所できるプログラム・教室づくりを考案・運営してまいります。

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 : TAKUMI 阪東橋教室

定 度	18	事業所の支援に満足しているか	22			<ul style="list-style-type: none"> <li>・素晴らしい先生方なのでとても満足しています。</li> <li>・いつもありがとうございます。</li> </ul>	嬉しいお言葉をありがとうございます。今後も引き続き保護者様とお子様両名の満足度が高い教室づくりを目指して邁進してまいります。
--------	----	----------------	----	--	--	--	--

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。